

2

急カーブ連続区間、幅員狭小区間が解消され、安全・安心な通行が確保されます。

風屋川津・宇宮原工区が整備されることにより、急カーブ、すれ違い困難な区間が解消されます。また、現道の交通が風屋川津・宇宮原工区に転換するため、現道を通行する歩行者や自転車利用者の安全が確保されます。また、紀伊半島の南北軸を強化し、十津川村と五條市間の所要時間短縮を図り、地域間連携の強化を図ります。

■現在の状況と、整備後のイメージ



幅員狭小区間を走行する大型車



3

救急医療施設への速達性が向上します。

風屋川津・宇宮原工区の開通により当該地区での異常気象時の交通規制や、被災時の通行止めリスクが低減されるとともに、走行性が向上します。また、五條新宮道路の整備により救急医療施設への搬送時間が大幅に短縮されます。

■十津川村役場～奈良県総合医療センター間の所要時間

所要時間	21分短縮	所要時間
103分		82分
8:1		8:18:2

※ 五條新宮道路が整備された場合、うち風屋川津・宇宮原工区により約7分短縮されます。

※ 1：H27年度道路交通調査調査平均速度で算出  
※ 2：H27年度道路交通調査調査地点の未供用区間（事業実施区間）の速度は、60km/hで算出



近辺の観光振興

十津川村では、「十津川村観光ナビゲーション」として5つのエリアで観光振興しています。

<橋のエリア>

日本の村の自慢は、日本一を誇る「谷瀬の吊り橋」(十津川村を代表する名所「谷瀬の吊り橋」)上野野から対岸の谷瀬へは、高さ5.4m、長さ297mの日本一長い鉄線の吊り橋が架かっています。



谷瀬の吊り橋

<水の滝のエリア>

日本の滝百選、国の滝 その神祕の美しき景の滝は、国道168号深川口上の滝へ約1.2km、深谷美樹がな流るの上流にあります。落差32m、しずさをあけて流れ落ちる滝そのもの姿をみることもから、滝壺より溢れ出て、白くぬめらかな岩肌を流し流れるよう、一見の価値があるでしょう。



滝の滝

<集のエリア>

人が集う情報が集う、村の中心を突かし「歴史と伝統の温泉 湯泉地温泉」太子武蔵、十津川本流の左岸にある温泉地温泉は十津川村で最も古く、50余年の歴史を結んだ流石の温泉地温泉です。



湯泉地温泉

<庭のエリア>

体を癒し心を和ませる古湯と温泉の郷「二津野ダム湖畔の温泉十津川温泉」元禄年間に災饑さ人夫が発見したといわれる下湯を源泉とし、昭和49年十津川温泉ができました。



十津川温泉

<花のエリア>

「三田にまたがる声や ホトトギス」歌にまで詠まれた遊楽探勝勝景は、和歌山県・二重県・奈良県(十津川村界下)の三県にまたがる峡谷で、その雄姿は古くから世に知られ、今も数多くの観光客を魅了します。



峡谷

風屋川津・宇宮原工区の事業の進め方

- 1 調査・測量・設計
- 2 用地中札の設置
- 3 物件調査・用地の測量
- 4 用地買収
- 5 工事着手
- 6 開通

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所  
TEL:04115 奈良県大宮町1ST250番11号  
TEL:0742(33)-301(代表)

道路の現状を見現したる  
定規集集ダイヤルへお聞らせください  
#9910 無料  
奈良県大宮町

奈良国道ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/nara>

04/24

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

# Kaseya Kawatsu Uguwara

五條新宮道路は、紀伊半島のアンカールート(いかり型ルート)として、紀伊半島の地域づくりを支援します。

国道168号五條新宮道路は、奈良県五條市から和歌山県新宮市を結ぶ高規格道路です。「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路です。住民の生活と安全を守る「いのちの道」としてなど、防災のみならず、人と物の流れを活性化し、地域の活性化を図るうえで必要不可欠な道路ですが、現在也未改良区間が多くあり、国と県で早期完成に向け整備中です。



風屋川津・宇宮原工区とは…

●五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)について  
「五條新宮道路」の整備区間である五條市以南の国道168号は、急峻な地形条件のため、未改良区間(線形不良・幅員狭小)が多く、大部分が異常気象時通行規制区間となっているため、和歌山県・奈良県において順次整備を行っています。特に風屋川津・宇宮原工区は、地形条件が厳しく整備に高度な技術を要する区間であることから国土交通省都府県共同事業として、安定した交通路の確保、線形が厳しい箇所・幅員狭小区間の解消、区際施設へのアクセス向上、地域の活性化等を目的に「五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)」として整備を進めています。



線形が厳しい区間 国道168号

●整備区間における国道168号の現状  
奈良国道事務所が整備を進める国道168号の風屋川津地区及び宇宮原地区は、熊野川の急峻な斜面を併走するため、線形不良かつ幅員狭小区間が多く存在します。また、地区内の山地には、深層崩壊発生のおそれのある地形的特徴が見られ、山崩には崩壊地の形跡もあるため、深層崩壊など災害リスクの非常に高い地区となっています。



国道168号の崩壊発生地区での土砂崩壊状況(平成24年4月)

## 高規格道路とは

高規格道路は、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはそれを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成し、地域の実情や将来像に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路です。

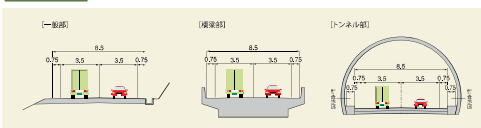
## 計画諸元

路線名	国道168号
区間(起点)	奈良県吉野郡十津川村野尻
区間(終点)	奈良県吉野郡十津川村宇宮原
道路規格	第3種第2級
延長	6.9 km
標準幅員	8.5 m
計画速度	60 km/h
車線数	2車線

## 事業の経緯

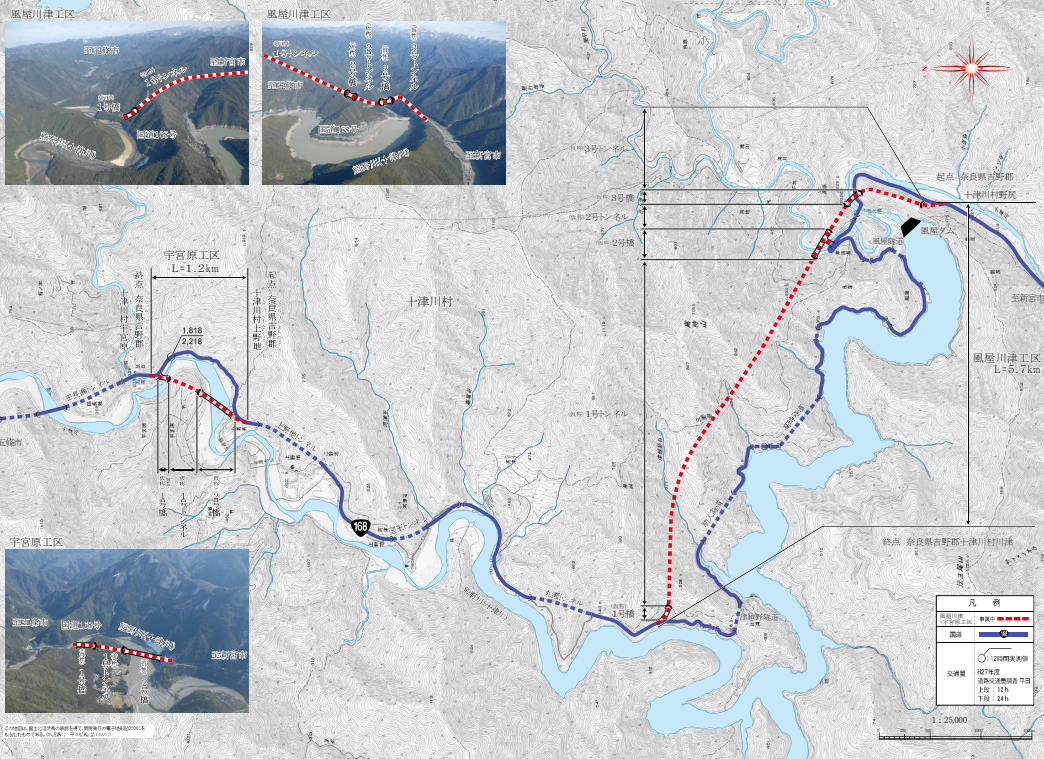
年度	
昭和57年	調査開始
平成25年	国による権限代行として新規事業化
令和2年	工事着手

## 標準断面図



## 環境への影響が少ない道路整備を

十津川村は豊富な自然に恵まれており、学術上においても重要な動植物が生息しています。そのため、道路整備にあたっては自然との調和を図りつつ、周辺環境への影響が極力少ない道路構造を選定しています。生息が確認されている猛禽類等について、工事による影響を少なくするため、詳細な猛禽類や植物等の現況調査を実施しています。今後は、専門家の指導を受けながら貴重動植物への対応を行っていきます。



## 求められる災害に強い道路整備

紀伊半島大水害(平成23年9月)による甚大な被害  
平成23年に発生した台風12号は、広い範囲に大雨をもたらし、紀伊半島を中心に各地で大規模な土砂災害、河川氾濫等が発生し、奈良県、和歌山県域に甚大な人的・物的被害を生じさせました。  
宇宮原地区でも土砂崩れによる長期の全面通行止めなど甚大な影響が生じました。唯一の幹線道路である国道168号の崩壊による寸断は、集落が孤立するなど、地域生活や救命・救急活動に多大な影響を及ぼしました。

また、風屋川津・宇宮原工区をはじめ五條新宮道路は、発生が危惧される東南海・南海地震による紀伊半島沿岸部被災時に広域的な緊急輸送道路の役割を果たします。今後は五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)をはじめ、災害に強い紀伊半島の緊急輸送道路として五條新宮道路の早期

## 整備効果 1 災害に強い道路が確保されます。

現国道168号における異常気象時の交通規制や崩土などによる通行止めが発生しても、風屋川津・宇宮原工区の開通により安全で安定した交通が確保されます。また、地域住民にとっては、被災時の孤立化を防ぎ、緊急避難ルートとして活用できるようになります。国道168号風屋川津・宇宮原工区が開通すれば、当該地区における異常気象時の交通規制や崩土による通行止めのリスクが低減されることにより安全で安定した交通が確保され、紀伊半島内陸部の安全性の向上に寄与します。

